

平成21年度新日本未来学会総会 資料

平成21年6月20日

新日本未来学会

総 会 議事次第

開会と会長あいさつ

- |          |              |     |
|----------|--------------|-----|
| 1. 第1号議案 | 会則の改正案       | 資料1 |
| 2. 第2号議案 | 平成20年度 活動報告案 | 資料2 |
| 3. 第3号議案 | 平成20年度 会計報告案 | 資料3 |
| 4. 第4号議案 | 平成21年度 活動計画案 | 資料4 |
| 5. 第5号議案 | 平成21年度 予算案   | 資料5 |
| 6. 第6号議案 | 次期役員の選任案     | 資料6 |
| 7. その他   |              |     |

# 平成21年度 新日本未来学会 総会

平成21年6月20日

新日本未来学会

## 第1号議案 会則の改正について

### 改正の主旨

1. 常任理事の定員を増やして学会活動の活性化を図りたい。
2. 年度の収支会計数値を総会前に確定するため、会計年度の終期を総会より前の月に変更したい

### 改正案文

#### [現会則]

#### 第8条「役員」

本会の事業を運営するためにつぎの役員を置く。 役員の任期は就任の月より2ヶ年とし、重任を妨げない。(途中略)

3. 常任理事 5名以上10名以内 理事の互選によって決定し、会務を執行する。(会長、副会長を含む)

#### 第12条「経費」

本会の経費は、会費、寄付金および補助金などでまかなう。

会費は総会で定める。

本会の会計年度は毎年7月1日に始まり、翌年6月30日に終了する。

#### [改正会則案]

#### 第8条「役員」

(途中略)

3. 常任理事 5名以上15名以内 理事の互選によって決定し、会務を執行する。(会長、副会長を含む)

#### 第12条「経費」

本会の経費は、会費、寄付金および補助金などでまかなう。

会費は総会で定める。

本会の会計年度は毎年7月1日に始まり、翌年6月30日に終了する。

但し、翌年度の総会が6月以前に開催されるときは終了時期を総会開催月の前月末日までとする。この場合、翌年度は総会開催月の1日から始まるものとする。

### 改正の理由

常任理事を増やして共同で活性化したいため。また、現会則だと、6月に総会を開催した場合、その日に前年度の収支が確定できず事業報告、会計報告ができないため。

## 新日本未来学会 平成20年度の活動報告(案)

平成21年6月20日

新日本未来学会の平成20年度(平成20年6月1日~平成21年5月31日)の活動は以下の通りである。

### 1) 理事会及び総会の開催

平成20年7月11日に日比谷の国際ビル内の日本倶楽部で理事会(議長公文俊平)を開き、平成19年度の活動報告、収支報告を受け、平成20年度の事業計画と収支予算を了承した。体制を見直すことを承認した。続いて開かれた総会で、これらの案件が承認された。また廣田和夫氏が理事に就任した。

### 2) 記念講演会の開催

平成20年7月11日に日本倶楽部で、ホセ・ルイス・コルデイロ氏による記念講演会「ミレニウムプロジェクト 未来の未来」を開催した。国連関係団体で進められ、新日本未来学会も日本ノードとして参加しているミレニウムプロジェクトの紹介と氏の鋭く明快な人類社会の未来観が披露された。

### 3) シンポジウム「アキハバラという未来」の開催

平成20年11月22日に秋葉原コンベンションホールでシンポジウム「アキハバラという未来~未来学パラダイムの再構築~」を開催した。このシンポジウムでは明治大学国際日本学部の森川嘉一郎氏による基調講演「アキハバラと未来」の後、稲増龍夫当学会常任理事(法政大学教授)のコーディネータ、高田公理当学会会員(佛教大学教授)、遠藤諭氏(アスキー総合研究所長)、パトリック・ガルバレス氏(オタク研究家)に森川氏を加えた4人のパネラーにより「未来」の変容や「趣都秋葉原」と未来社会について、パネルディスカッションを行った。また、これらの講演概要をまとめ、希望者に配布した。

### 4) 企画委員会の開催

平成20年度も企画委員会を(財)未来工学研究所で開催し、本学会の将来方向性や第2回未来学フォーラムの内容企画等について議論した。

### 5) 国際交流

本会常務理事の松本信二氏と事務局長の長谷川洋作氏が7月末にワシントンで開催されたWFS(世界未来会議)の年次会合及びミレニウム・プロジェクトの企画委員会に出席した。

## 日本未来学会 平成20年度会計報告(案)

(2008年7月1日～2008年5月31日)

### 1.収入の部

科 目	人数	単価	金 額	備 考
1. 会費収入			<u>114,500</u>	
個人会費	27.5	3,000	82,500	
役員連絡費	14	2,000	28,000	
顧問	2	2,000	4,000	
2. 記録集収入(未来学シンポジウム)	38	1,000	<u>26,000</u>	
会員	12	1,000	12,000	
非会員	7	2,000	14,000	
3. 銀行利息			<u>177</u>	
4. 事務局預かり金からの繰入			<u>353,249</u>	
5. 繰越金			<u>478,793</u>	
収入合計			972,719	

### 2. 支出の部

科 目	人数	単価	金 額	備 考
1. 総会特別記念講演経費			<u>38,100</u>	7月11日
2. 未来学シンポジウム経費			<u>330,600</u>	11月22日
会場費			180,600	
記録集作成費			70,000	
謝金他			80,000	
3. 企画委員会			<u>9,000</u>	
4. 資料郵送費			<u>2,000</u>	
支出合計			<u>379,700</u>	
次期繰越金			<u>593,019</u>	
銀行預金			450,670	
現金			142,349	
当期収支差額合計			0	

## 新日本未来学会 平成21年度 活動計画(案)

平成21年6月20日

### 1. 総会、理事会等の開催

総会 平成21年度の総会を平成21年6月20日に立教大学で開催する。会の運営を活性化し効率的にするための、会則改正を行うとともに、平成20年度の活動報告、会計報告、平成21年度の活動計画、予算案及び7月24日以降2年間の役員体制を審議決定する。

今後は会員が参加しやすいように、総会時に未来学フォーラム、会期後半に未来学シンポジウムを開催する方向で活動する。

理事会 平成21年度総会に先立って開催する他、必要に応じ特別に参集して開催する。

常任理事会 年に2回以上開催し、今後の活動(特に今秋のシンポジウム及び来年度の第3回未来学フォーラム)の具体策を検討する。常任理事会には監事にも参加を要請し、通称を企画会議とする。

### 2. 第2回未来学フォーラムの開催と第3回未来学フォーラムの企画

平成21年6月20日に、会員が未来研究の成果を発表できる場として第2回未来学フォーラムを開催する。また、平成22年度の総会時に第3回未来学フォーラムを開催するための企画と準備作業を行う。

### 3. シンポジウムの開催

本年秋に未来学シンポジウムを開催する。テーマや内容等は企画会議で具体化する。また開催にあたっては他団体から協賛を得るよう努める。

### 4. 広報活動の強化

ホームページを更新するとともに、学会会員の関連活動状況を随時広報するとともに、電子メールを活用してこれらの情報の共有を図る。

### 5. 国際交流

世界未来学会やミレニアムプロジェクトへの自主参加を通じ、未来研究に関する国際交流を行う。

### 6. 会員の増大と収入の確保を図る

当面、未来学フォーラムや未来学シンポジウムは公開として、会員の拡大に努める。未納会費の催促等、収入確保に努める。

新日本未来学会

平成21年度予算(案)

(平成21年6月1日～平成22年6月30日)

平成21年6月20日

1. 収入の部

会費収入		<u>260,000円</u>
個人会員	3,000円×70人	210,000円
役員連絡費	2,000円×25人	50,000円
シンポジウム協賛		<u>150,000円</u>
前期からの繰越		<u>593,019円</u>
収入合計		1,003,019円

2. 支出の部

総会・理事会経費		<u>20,000円</u>
第2回未来学フォーラム (研究発表会)		<u>150,000円</u>
平成21年度未来学シンポジウム		<u>200,000円</u>
企画委員会		<u>28,000円</u>
事務局費(郵送費等)		<u>12,000円</u>
支出合計		<u>382,000円</u>
次期への繰越		593,019円

収支差額 0円

## 新日本未来学会 役員一覧

(平成21年7月24日より2年間)

<b>会 長</b>	公文 俊平 (再)多摩大学 情報社会学研究所 所長
<b>常任理事</b>	稲増 龍夫 (再)法政大学 社会学部 教授
同	上田 昌文 (新)市民科学研究室 代表
同	小野 直哉 (新)京都大学医学研究科 博士後期課程
同	鍋木 孝昭 (新)(株)IHI 情報システム部新事業推進グループ 部長
同	長谷川 文雄(再)明治大学 国際日本学部 教授
同	稗田 浩雄 (再)(財)未来工学研究所 理事
同	廣松 毅 (再)情報セキュリティ大学院大学 情報セキュリティ研究科 教授 同 セキュアシステム研究所長
同	松本 信二 (再)シー・エス・ピー・ジャパン(株) 顧問
同	吉井 博明 (再)東京経済大学 コミュニケーション学部 教授
同	和田 雄志 (再)(財)未来工学研究所 理事
同	長谷川 洋作(再)(財)未来工学研究所 常務理事 研究所長
<b>理 事</b>	篠原 淳理 (再)日本女子大学 市民安全学研究センター 特別研究員
同	高橋 英與 (再)(社)コミュニティネットワーク協会 副理事長
同	玉田 樹 (再) 元 野村総合研究所 理事
同	長 恵祥 (再) (株)大林組 副社長
同	林 光 (再) 知識創造工房ナレッジファクトリ 代表
同	廣田 和夫 (再) 新日本未来学会 会員
同	水谷 仁 (再) ニュートン 編集長
同	山内 康英(再) 多摩大学 教授
同	横濱 征四(再) 立教大学 社会学部 教授
<b>事務局長</b>	長谷川 洋作(新)(財)未来工学研究所 常務理事 研究所長
<b>監 事</b>	東 晴彦 (再)(独)産業技術総合研究所 総括主幹 (再任)
同	帆足 興次 (新)江戸川大学 社会学部 部長 教授 (新任)

(再)は再任、(新)は新任

名誉顧問は終身、顧問は4年任期のため現状のまま

## 新日本未来学会 役員一覧

(平成21年6月20日現在)

会 長	公文 俊平	多摩大学 情報社会学研究所 所長
常任理事	稲増 龍夫	法政大学 社会学部 教授
同	長谷川 文雄	明治大学 国際日本学部 教授
同	稗田 浩雄	(財)未来工学研究所 理事
同	廣松 毅	情報セキュリティ大学院大学 情報セキュリティ研究科 教授 同 セキュアシステム研究所長
同	帆足 興次	江戸川大学 社会学部 部長 教授
同	松本 信二	シー・エス・ピー・ジャパン(株) 顧問
同	吉井 博明	東京経済大学 コミュニケーション学部 教授
同	和田 雄志	(財)未来工学研究所 21世紀社会システム研究センター長
同	長谷川 洋作	(財)未来工学研究所 常務理事 研究所長
理 事	上田 昌文	市民科学研究室 代表
同	小野 直哉	京都大学医学研究科 博士後期課程
同	鍋木 孝昭	(株)IHI 情報システム部新事業推進グループ 部長
同	篠原 淳理	日本女子大学 市民安全学研究センター 特別研究員
同	高橋 英與	(社)コミュニティネットワーク協会 副理事長
同	高柳 雄一	多摩六都科学館 館長
同	玉田 樹	元 野村総合研究所 理事
同	長 恵祥	(株)大林組 副社長
同	林 光	知識創造工房ナレッジファクトリ 代表
同	廣田 和夫	
同	水谷 仁	ニュートン 編集長
同	山内 康英	多摩大学 教授
同	横濱 征四	立教大学 社会学部 教授
事務局長	長谷川 洋作	(財)未来工学研究所 常務理事 研究所長
監 事	松井 好	(社)科学技術と経済の会 顧問
同	東 晴彦	(独)産業技術総合研究所 総括主幹

<b>特別顧問</b>	林 雄二郎	前日本未来学会会長 (社)日本フィランソロピー協会 会長
同	加藤 秀俊	前日本未来学会 理事長

<b>顧 問</b>	合田 周平	電気通信大学 名誉教授
同	渥美 和彦	東京大学 名誉教授
同	栄久庵 憲司	(株)G Kデザイン機構 会長
同	小松 左京	作家